

題材設定デザインシート

2023.5~

「ミッション」	『生徒が「学び」や「成長」を実感できる美術教育の実現』				
研究主題	『造形の動きについて実感的に理解し、主体的に創造活動に取り組む生徒の育成』				
内容	A 表現 ア (絵や彫刻)		A 表現 イ (デザインや工芸)	B 鑑賞 ア (美術作品など)	B 鑑賞 イ (美術の動きや美術文化)
題材					学年

学習目標(はぐくみたい資質能力)

知識技能	共通事項	ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解することができる。	イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解することができる。
		ア 色彩の色味や明るさ、鮮やかさを捉える。	ア 造形的な特徴などを基に、見立てたり、心情などと関連付けたりして全体のイメージで捉える。
		イ 材料の性質や質感を捉える。	
		ウ 形や色彩、材料、光などから感じる優しさや楽しさ寂しさなどを捉える。	イ 造形的な特徴などを基に、作風や様式などの文化的な視点で捉える。
		エ 形や色彩などの組合せによる構成の美しさを捉える。	

創造的な技能	ア 発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動	
	ア 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すことができる。	イ 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すことができる。

思考力判断力表現力	発想構想の能力	ア 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動	
		ア 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。	イ 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。
		イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動	
		ア 構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ることができる。	イ 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ることができる。
		イ 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ることができる。	イ 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。

鑑賞の能力	鑑賞の能力	ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動	
		ア 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。	イ 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
		イ 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。	イ 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
		イ 生活や社会の中の美術の動きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動	
		ア 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の動きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。	イ 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の動きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。

主体的に学習に取り組む態度	態度表現	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく対象の美しさやよさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に対象の美しさやよさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。
	態度鑑賞	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

次	時	学習活動	評価の観点					評価の方法
			共通	創	発	鑑	態度	

- 「指導に生かす評価」は、資質や能力が順調に育成されているかを見取り、必要に応じて指導の改善を図るために行います。
- 「記録に残す評価」は、その単元を通して、資質・能力が育成されているかを見取るために行います。「記録を残す評価」を行うまでに、「十分指導しておくことが重要です。」